

渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 第5回合同部会 議事要旨

日 時：平成27年7月22日（水） 15時00分～17時20分

場 所：栃木市藤岡遊水池会館 2階中会議室

出席者：別紙出席者一覧表（構成員：44 団体中27団体（37名）、

オブザーバー：4団体中1団体（1名）が出席）

<議事要旨>

※部会については、栃木市と小山市が交互に事務局を務めることとなっており、本会は小山市が担当。小山市渡良瀬遊水地ラムサール推進課 篠原係長が司会進行。

1. 開会

司会より開会の辞。

2. 挨拶

※部会長（議長）を務める小山市渡良瀬遊水地ラムサール推進課 岡部課長より。

- ・前回の合同部会において、マナーパンフレットのサンプル版について協議いただいた。パンフレットおよび今後の部会のあり方について、アンケートをお願いしたが、短期間にも関わらずご協力いただき感謝申し上げます。
- ・8月には、本協議会の会長市が小山市から栃木市に交代となるが、引き続き協議会の発展のため、皆様方の協力をお願いしたい。

3. 議事

(1) マナーパンフレットについて

○事務局

「資料1 アンケート結果」について小山市篠原説明。アンケートの回答結果について概要説明。

【議長より】

制作費用の財源、内容修正については、制作時期にも関係してくる。皆様方の率直な意見交換をお願いしたい。

○事務局

オオセッカの写真掲載について、野鳥の会栃木・高松代表に確認したところ、掲載することに問題はない、との回答を得ている旨を説明。

○栃木県下都賀漁業協同組合 木村専務理事

費用については、国や自治体に頼るのではなく、協議会加盟団体が均等に負担して、各団体の意向も均等にパンフレットに掲載するべきである。

○渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会 猿山事務局長

発行部数等が明らかにならないと、具体的な議論がしにくい。

【議長より】

サンプル版を5月のゴールデン・ウィークに配布したが、その際にいただいた意見を反映させて、なるべく早い時期で作成したい、と思っている。各自治体における予算措置を行う場合

には具体的な事業、根拠が必要となった上で、予算化する必要があることから、早くてもH28年度からとなる。

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色会長

ラムサール条約を所管する環境省、渡良瀬遊水地を管理する国交省において負担すべき。または、4県4市2町にて負担すべきではないか。また、1団体1,000円程度の負担金を集めて対応することもできるのではないか。時期は、野鳥がたくさん訪れ、野鳥観察をする人も増えてくる冬になる前に対応すべき。

○わたらせ未来基金 内田事務局長

環境省において、生物多様性関連も含めてラムサール条約登録地に関する予算をどの程度持っているのか。各自治体においては、環境基本計画を策定しているかと思うが、その中で渡良瀬遊水地をどのような位置付けにしているのか。位置付けがされていれば垂れ幕の制作等の予算が付いているのではないか。5月にサンプル版を配布したようだが、その予算はどの程度なのか。

【議長より】

5月に配布したサンプル版については、小山市においてカラープリンタで作成したため、事務費での制作であり、具体的な金額については示すことは難しい。

環境基本計画での位置付けは自治体によって異なるが、小山市においては、各計画に位置づけられ予算も付いている。ただし、補正予算については、必要に迫られたものに限っていることから、対応は難しい。

○環境省 中山自然保護官

予算はほとんどない。最近、ラムサール条約登録された茨城県・涸沼や千葉県・谷津干潟があるが、国指定鳥獣保護区のうち、特別保護区に指定されていることから、ラムサール条約登録に関係なく予算を付けている。

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色会長

自然保護官の配置といった人的な予算を付けているのではないか。渡良瀬遊水地の自然保護官の配置はできないのか。

○環境省 関東地方環境事務所 中山自然保護官

常駐できればいいのだが、広大な国立公園等においても1人、2人で対応している状況であり、実現は難しい。

○ラムサール湿地ネットわたらせ 楠代表

予算を取ることが難しいのであれば、今年度は事務費の範囲で各自治体に対応していただくことはできないか。

○国土交通省 利根川上流河川事務所 森田副所長

助成金や負担金などを活用した会の運営については、今後議論する必要がある。パンフレットについては、折角、形になってきたものであることから、今回に限り当事務所で負担することとしたい。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 宮崎部長

そもそも協議会の運営費が必要なのではないか。来年度以降、協議会の運営費について、各団体から負担してもらうべきである。

【議長より】

今後、協議会の運営費については、議論していく必要がある。パンフレットについては、森田副所長から申し出いただいたように、今回は、利根川上流河川事務所に作成いただくということでいいか。(拍手多数)

【議長より】

内容修正を踏まえた制作時期について、皆様のご意見を伺いたい。基本的にはサンプル版を踏襲した上で、微修正することがいいのではないかなと思う。緊急連絡先について追加するべきである、との意見があるがどうか。

○国土交通省 利根川上流河川事務所 森田副所長

サンプル版には、意見募集の連絡先に栃木市、小山市、利根川上流河川事務所の連名になっている。この欄をどうするかについて皆様からご意見いただきたい。

○ラムサール湿地ネットわたらせ 楠代表

遊水地内を巡回している、国土交通省のパトロールカーに繋がるような連絡先がいいのではないかな、と思うがどうか。

○国土交通省 利根川上流河川事務所 森田副所長

パトロールカーに連絡する、ということは難しいと思っている。パトロールカーを見つけた場合に相談していただくことは可能だが、広い遊水地の中では会う機会は少ないため、しっかりした連絡先を記載しておくべきである。

【議長より】

熱中症等の病気や事故の可能性が考えられることから、警察・消防の連絡先について記載しておくべきではないか、と思う。

○わたらせ未来基金 内田事務局長

ヨシ刈をされていて怪我をしたことがあるが、救急車がヨシ刈の位置が分からない、ということもあった。

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色会長

アクリメーション振興財団を最初の連絡先として、関係団体に連絡してもらうことがいいのではないかな。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 宮崎部長

第1調節池においては対応可能だが、第2、第3調節池の対応は難しい。また、休日の対応についても難しい。

○国土交通省 利根川上流河川事務所 森田副所長

遊水地内は、場所の特定が難しい。訪問者が自分の位置を把握できるようにすることを考える

べきではないか。今後の遊水地の利活用の今後の課題と思う。

○生井地区自治会連合会 平田代表

地元の住民でも難しい。特にヨシが伸びてくると自分の位置が分からない。

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色会長

自己責任でもある。利用者は自分の位置の把握をしっかりとしておくべきである。

○ラムサール湿地ネットわたらせ 楠代表

前回の合同部会でガイドマップ（同団体作成）を配布したが、マップにはランドマークを記載している。利用者にランドマーク等を確認させる工夫はないものか。

【議長より】

利用者への働きかけについては、今後も検討をしていく必要がある。マナーパンフレットの緊急連絡先について、意見はないか。

○渡良瀬遊水地関連地域活性化協議会 新村氏

緊急連絡先として、周辺4市2町全部を記載するべき。予算についても、周辺市町が協議会が前に進むように考えて対応するべきである。

【議長より】

栃木市、小山市以外の自治体の意見はどうか。

○野木町政策課 小林係長

部会の中で意見募集に関連しては、栃木市と小山市を掲載する、と決めたのではないか。その点については明確にしておいてほしい。

○板倉町企画財政課 荻野係長

構成市町の連絡先について掲載することで問題ない。

○加須市環境政策課 大和田課長

文字が多くてみづらいと感じてはいるものの、連絡先の掲載については問題ない。

○古河市企画課 粕田係長

協議会の構成市として掲載することに問題ない。

○加須市 渡邊教育長

構成市は、掲載してほしいとアピールするべきである。自治体だけでなく、構成団体についても掲載することについて議論してほしい、と感じた。

【議長より】

今後、各市町を掲載するに際しては、電話だけでなく、メールアドレスも加えるべきである、と感じている。可能な限り、早い段階、概ね秋頃に作成したい。

○国土交通省 利根川上流河川事務所 森田副所長

皆さんの議論を経て、8月3日の協議会において完成版として報告できることがいい、と思っている。

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色会長

アクリメーション振興財団の連絡先についても掲載すべき。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 宮崎部長

掲載することに問題ないが、表示について工夫していただきたい。

【議長より】

アクリメーション振興財団についても掲載させていただき、他の修正箇所についても早急に調整・対応した上で、8月3日の協議会に示すということで進めていくので、協力をお願いしたい。

【一同了承】

(2) 今後の部会の進め方について

○事務局

「参考1 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会 基本事項」について利根川上流河川事務所・高橋専門官説明。

「資料1 アンケート結果」小山市・篠原係長説明。協議会において、4部会設置、そのうち、2部会「賢明な利活用」「遊水地保全・再生」を進めるという決定があった当初の経緯を説明した上で、アンケート概要について説明。

「資料2 分類結果一覧」小山市・篠原係長説明。

【議長より】

4部会のうち、当初進めていくと決定があった、2部会「賢明な利活用」「遊水地保全・再生」のうち、「遊水地保全・再生」については現実として進まなかった。このことを踏まえて、今後の部会のあり方について議論いただきたい。

○わたらせ未来基金 内田事務局長

湿地再生については、モニタリング委員会において議論した上で、特に第2調節池において掘削が進んでいるが、保全をどうしていくかが問題だと思う。みなさんでどうしていくべきか考えていただきたい。

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色会長

まずは湿地再生のための工事を最優先するべきであると思う。保全の議論を行う事で掘削が遅れることは良くない。

○渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会 猿山事務局長

湿地再生基本計画は10年、20年も先まで続くものである、と思っている。それまで待っている訳にはいかない。湿地再生が進行している中で、掘削した場所においてセイタカアワダチソウが繁茂している現状をみると、手を加えざるを得ないのではないか。他の方の意見も伺いたい。

○ラムサール湿地ネットわたらせ 楠代表

正直、思っていた以上に工事が進んでいる。掘削後に外来種が繁茂する状況もあるので、できるだけ早く県や自治体において計画を決めるなどして、第2調節池の掘削後の保全再生を進めていただきたいと思っている。

○渡良瀬遊水地野鳥観察会 一色会長

気候変動は重要。第2調節池の果たす（治水の）役割は大きいことから、掘削を早急に進めるべきである、と感じている。また、外来種は悪者である、という前提は良くないのではないかと考えている。人間の生活に大きな支障がない外来種を駆除するのはいかがなものか。

【議長より】

第2調節池について、多くの意見があるということが分かった。部会の進め方ということで、「遊水地保全・再生」検討部会において議論を進めていくということによろしいか。

○一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 宮崎部長

事務局においては、4部会をどのように進めていく意向なのか伺いたい。

【議長より】

決定事項は、4つの部会の設置、2部会「賢明な利活用」「遊水地保全・再生」を動かすということである。マナーパンフレット1つにしても動かすことが大変であり、1部会しか動いていないのが現実。今後は皆様の総意を得て進めてまいりたい。時間もないことから、本件については、引き続き検討していく。次回について事務局から説明をお願いしたい。

○事務局

小山市篠原から、次回は8月の利活用協議会后、9月に「遊水地保全・再生」検討部会として実施していきたい旨を説明。

【議長より】

マナーパンフレットの緊急連絡先についても併せて、皆様の意見をもとに進めてまいりたい。9月に部会を開催する、ということではどうか。

○事務局

小山市篠原から、次回以降は合同部会ではなく、1つの部会として開催していきたい旨説明。

○わたらせ未来基金 内田事務局長

マナーパンフレットは、協議会を経て早い段階で形にしたい、と思っている。部会については、「賢明な利活用検討部会」だけをやっていると遊水地の全体像がみえてこないことから、次回は、「遊水地保全・再生検討部会」として開催していただきたい。

【議長より】

次回は、「遊水地保全・再生」検討部会として開催していきたいので、よろしくをお願いしたい。

【一同了承】

【議長より】

議事滞りなく終了しましたので、事務局にお返しいたします。

4. 情報交換

○事務局

千葉県野田市・コウノトリ放鳥について情報提供

「参考3：コウノトリの関東地域における野生復帰に向けて」

○小山市

栃木市が行っている、7月3日「渡良瀬遊水地ラムサール条約登録記念日」を協議会全体で共有していくことがいいのではないかと、との意見

5. その他

○事務局

8月3日に利根川上流河川事務所にて利活用協議会開催について確認

次回開催日（平成27年9月30日予定）の確認

6. 閉会